

長作公民館だより

令和4年
8月号

千葉市長作公民館 〒262-0044 花見川区長作町 1722-1 電話 043-258-1919 FAX 043-286-6449 Email nagasaki@ccllf.jp

クラブ連絡協議会より御挨拶 クラブ連絡協議会 会長 斉藤 政利

皆さんこんにちは。クラブ連絡協議会の会長を務めております、長作囲碁クラブの斉藤です。僅かではありますが、確実に秋の空気が感じられる今日この頃となりました。

我々「クラブ連絡協議会」は長作公民館の利用を通じて、各クラブ間の交流を図るとともに、地域とのつながりを深められるよう活動しております。

本年度は、昨年、一昨年とコロナウイルス蔓延対策により中止となっていた「文化祭」の開催に向けて会員一同取り組んでまいりましたが、昨今の状況を踏まえ、まことに残念ではありますが、本年も中止との結論に至りました。

今後は、来年に向け、新たな取り組みを模索しつつ、会員一同頑張っておりますので、変わらぬご支援をいただければ幸いです。

夏休みに楽しい講座を続々と開催しました！！

“子ども甲冑着付け体験教室”（8月21日）



千葉手作り甲冑匠の会の皆様の御協力の下、手作りとは思えない見事な甲冑を着る事ができて、子供達も大喜びでした。

“子ども工作教室”（8月22日）



テラコッタ風粘土を使って、女の子は可愛らしく実用的な、男の子は奇抜で独創的なミニプランターカップを作成していました。

なんとビックリ！！サボテンの花が咲きました。



主事（彦坂）が公民館に赴任して5年目になりますが、一度も咲いた事のなかったサボテンが、6月と7月の2回に渡って、ニョキニョキと蕾を伸ばして、白い大きな花を咲かせました。現在、3回目の蕾が成長中です。

～ 長作・今昔ものがたり（その4） ～

江戸時代の房総は、徳川将軍家の家臣である旗本の知行地（領地）が大部分を占め、その数は1000家にも及んでいました。長作の地も、村の石高689石余のうち、500石余が旗本の服部家の知行地となっていました。この服部家は伊賀の忍者・服部半蔵と同族で、戦国時代の当主が徳川家康に仕えて、小牧・長久手の戦いでも活躍、のちに長作に領地を賜ったとの事で、今でも墓所（現在は無縁仏）が長胤寺に残されています。

また、長作の民話にも、「ある日、小畦という名の力持ち（小五郎という力士とも）が田んぼで仕事をしていると、服部様が馬に乗って来られた。そこに一頭の野馬が前に立ち塞がり、服部様は立ち往生。追い払おうにも野馬は逃げようもしないので、小畦がその野馬の両脚を掴んで、持ち上げて自分の肩に掛けて、服部様をお通ししたそうだ」という話があり、服部家と領民との交流が今も伝わっているのですが、この力持ちの小畦については、田んぼ仕事の帰りに足を洗うために踏み固めて作った池が「小畦殿足洗池」（「長作町」のバス停の台地下にあったとか）と呼ばれていたとの事で（近所のお婆さんが建てた石碑もあったらしいのですが、現在は行方不明）、のどかな当時の長作の一端が偲ばれます。

（次号に続く）。



【おまけメモ】 江戸時代の牧の名残り

長作の森の一角に、下野牧跡の野馬除土手堀の碑と野馬の水呑場跡の説明板が建てられています。ぜひ探してみてくださいませ。